

# キャリア・パスポート活用例

～学校行事の事前指導と事後指導②～

<b>校種・学年</b>	小学校・5学年	<b>教科等</b>	総合的な学習の時間
<b>活用場面</b>	福祉体験活動の事前指導と事後指導として扱う		

## 1 事例の概要

何種類かの福祉体験活動を行い、その事前指導と事後指導として、自分の考えをまとめ、わかりやすく表現する。

## 2 活用の利点

地域の高齢者や障害のある人々と繰り返しかわる活動を通して、工夫や努力、人々の思いなど気付いたことをまとめ、学んだことを自らの生活や行動に生かす。

## 3 資料

いろいろな人の立場に立って



# いろいろな人の立場に立って



ふ だんの く らしの し あわせ

5年 1組 名前

## 福祉体験活動前

福祉に対する今の自分の考え（福祉について、どのようなイメージや考えをもっているか。）

わからない

福祉体験活動の目標 学年（学級）全体の目標

福祉体験などを通して、人々を助ける方法を考え、生活に生かそう。



自分の目標を決めよう (こんなふうに かかわりたい！)

障がいのある人の気持ちを知りたい。

自分が経験したいこと

車いすに乗って、車いすで生活する人の気持ちを知りたい。

## 福祉体験活動後

福祉に対する今の自分の考え（どのように考えが変わったか）



人が不便なく生活でき、自由に過ごせること。

自分の目標を振り返ろう

① 目標に対して、達成できたことは何ですか。

できないからと何もしないのではなく、できることをやっているとわかった。

② それをこれからの生活に、どのように生かしていこうと思いますか。

自分も、できることを見つけて、進んでやりたい。

③ 福祉体験活動を終えて、「これは課題として残ったな」と思うことは何ですか。

もっとくわしく、調べられるようにしたい。

④ それをこれからの生活に、どのように生かしていこうと思いますか。

どの授業でも、くわしく、調査し、説明できるようにする。

## 先生、家の人などからのメッセージ

先生から 調べ学習、発表、様々な体験を通して、福祉についての考えが変化しましたね。ホッチャというプラススポーツにも、楽しんで取り組んでいました。人の気持ちを考えることの大切さがわかりましたね。

家の人などから 世の中には色々な人がいる事に気づく事は大切な事です。健常者ばかりではない。みんなの力に合わせる。当り前の世の中、やていい気持ちを持つる人にならねえ。